



市立長野 講演会・シンポジウムのご案内

「食べる」ことから、学校・地域の「学び」を考えませんか？

日時：11月15日（水）

第Ⅰ部 16：00～17：30 講演会

第Ⅱ部 17：45～19：00 シンポジウム

どちらかへの参加でも結構です。

場所：市立長野高校 翼ホール

全体テーマ：「食・環境・植物」菜園ラボガーデンから学校・地域を考える

○事前申し込みは不要です。当日会場で受付（15:40～）をお願いします。

○駐車場には限りがあります。お車でお越しの場合はできるだけ乗り合わせをお願いします。

第Ⅰ部 講演会

講師：藤原 辰史 氏（京都大学人文科学研究所准教授）

演題：食べるとはどういうことかー人文学と生態学の融合をめざしてー

藤原辰史氏について

1976年北海道に生まれ、鳥根県で育つ。2013年より現職。著書に「戦争と農業」（集英社インターナショナル）、「トラクターの世界史」（中央公論新社）、「給食の歴史」（岩波新書）など。



←「食べるとはどういうことか 世界の見方が変わる三つの質問」（2019年 農山漁村文化協会）

身近にありながら良く分かっていない食の本質に中高生とともに迫る。「食べる」を深く哲学する熱血授業。

「植物考」（2022年 生きのびるブックス） →

はたして人間は植物より高等なのか？植物のふるまいに目をとめ、歴史学、文学、哲学、芸術を横断しながら人間のあり方について考える。



第Ⅱ部 シンポジウム — 「菜園ラボガーデンから学校・地域を考える」

パネラー：藤原辰史 坂口則夫（市民開放講座講師） 本校生徒他 2～3名

コーディネーター：菅沼尚（市立長野高校参与）



今年度、南校舎の南側で「学校菜園ラボガーデン」の整備を始めました。植物を育て、収穫し、食とつなげることを、市民開放講座の受講生や地域住民の皆さんと、生徒と一緒に考えることの中に、これからの「学び」のあり方があるのではないかと、まさに実験中（ラボ）です。

（問合せ先）

長野市立長野高等学校
菅沼、内川

TEL 026-296-1241